

船舶事故調査報告書

平成29年4月20日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（浮棧橋）
発生日時	平成28年9月6日 17時20分ごろ
発生場所	長崎県杵岐市 <sup>あしき</sup> 芦辺港 芦辺港瀬戸防波堤灯台から真方位295° 510m付近 （概位 北緯33° 48.6′ 東経129° 45.3′）
事故の概要	ロールオン・ロールオフ貨物船フェリーつばさは、着岸作業中、浮棧橋に衝突した。
事故調査の経過	平成28年9月8日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	ロールオン・ロールオフ貨物船 フェリーつばさ、1,585トン 134472、杵岐・対馬フェリー株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
乗組員等に関する情報	船長、四級（航海）
負傷者	なし
損傷	本船 左舷後部外板に凹損及び擦過傷 浮棧橋 浮体の凹損等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風速 約2～3m/s、視界 良好 海象：波高 約0.5m
事故の経過	本船は、二軸二舵を有し、船長ほか11人が乗り組み、旅客9人及び車両37台を乗せ、芦辺港において、着岸作業を行っていた。 船長は、右側の舵を左舵一杯、左側の舵を右舵一杯にとった状態とし、船尾着けしようと両舷のプロペラ翼角を適宜に操作して減速しながら着岸予定岸壁に向けて後進中、船尾が左方に振れたので、右側のプロペラ翼角を前進5°～10°、左側のプロペラ翼角を0°として船尾の振れを抑制しようとしたものの、左舷後部が着岸予定岸壁左方の浮棧橋に衝突した。 船長は、本事故当時、風が弱いので、バウスラスト（推力8.0tf）を使用しなくても、翼角の操作のみで船尾の振れを抑制することができるものと思っていた。
分析	本船は、船長が、船尾着けの予定で後進中、船尾が左方へ振れた際、バウスラストを使用しなかったことから、船尾の振れを制御できず、着岸予定岸壁左方の浮棧橋に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、船長が、船尾着けの予定で後進中、船尾が左方へ振れた際、バウスラストを使用しなかったため、船尾の振れを制御できず、本船が着岸予定岸壁左方の浮棧橋に衝突したものと考えられる。